

会長就任のご挨拶

会長 藤原 政嘉



暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、(公社)大阪府栄養士会の事業にご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。

5月25日に開催されました令和6年度公益社団法人大阪府栄養士会定時総会におきまして、前回に引き続き会長(代表理事)に就任することになりました。身に余る光栄と感じております。

我々(公社)大阪府栄養士会に与えられた使命と目的は「食と栄養」を基盤に「大阪府民の公衆衛生の向上に寄与する」とあることから会員の皆様と共にその目的に沿って努力を重ねて参りたいと思います。

本会は上記の目的を達成するため、公益性を持った三つの事業を基軸としております。

一つ目は府内の管理栄養士・栄養士の資質向上を図り、府民の健康増進、疾病予防のための食生活改善を行い、公衆衛生の向上に資する事業。

二つ目は府民に対し、栄養・食生活について直接、個別に相談・指導することにより、府民の健康の維持増進などの公衆衛生の向上に資する事業。

三つ目は栄養・食生活に対する知見などを発表する学術研究発表会を実施することで、栄養・食生活に関係する専門職種の資質の向上と最新の情報の共有化を図り公衆衛生の向上に資する事業。としております。

また、現在、本会が抱えている大きな課題として、

一つ目は「栄養ケア・ステーション事業の運営」です。まだまだ認知度が低いことから、今後は関係職種や府民の皆様にご理解、活用していただくために見える活動へと展開したいと考えております。また、近年の医療報酬、介護報酬の改定により栄養ケア・ステーションが重要な役割を持つ事となり、本会においても医療機関や介護事業所から栄養・食事マネジメントに関する業務委託が増加しており、本会栄養ケア・ステーション登録管理栄養士の皆様に活動していただいております。今後、需要が高まるとされる「在宅栄養ケア」や「地域ケア会議」へ参画やリモートによる「栄養・食事指導」の受託も視野に入れ、役割を果たして行く必要があると考えております。

二つ目は、「会員数の増加に向けての取り組み」です。会員の減少は予算規模が縮小され、展開する事業も量・質とも変わります。そのため、会員の確保は必須の要件となります。時々入会することによるメリットを求める人がおられますが、会員のメリットは、会員になり活動(研修会参加、情報の交換・共有、雑誌の購読、仲間づくり等)をすれば、そこにメリットがついてきます。一人でも多くの仲間をつくり3000名を達成したいと思っております。会員あつての栄養士会です。今後は、栄養士会は管理栄養士・栄養士の要の組織であることを理解してもらう必要があると感じております。

三つめは「会員の質的担保を図るための生涯教育」です。内容もCE(Continuing Education:生涯教育)から継続的な自己研鑽をめざす生涯職能CPD(Continuous Professional Development:生涯職能開発)へ移行し、自らが目標を決め学習し、キャリアを支援するためスキルの到達度に応じた認定制度(専門分野、特定分野)を設けられております。「栄養と食」に関する分野の専門職業人として管理栄養士・栄養士は絶えずスキルの向上を図ることが社会への貢献の基盤となると共に社会からの信用度を得ることになります。皆様も日進月歩する栄養・食生活に関する情報を生涯教育の受講により取得され、スキルの持続とアップを図っていただきと思います。

今年6月1・2日には食育全国大会が南港のATCで開催され本会も出展し、多くの府民の皆様「自分の栄養を知ろう、自分の未来の健康のために」を標語に栄養・食生活改善を支援し好評を得ました。また、来年開催される「大阪・関西万博」において令和7年8月3～9日に大阪ヘルスケアパビリオンで、日栄のバックアップをいただきながら出展する予定をしております。会員の皆様にもご協力をいただく場合があるかと思っておりますので、その時にはよろしくお願いいたします。

栄養士会は皆様からの会費を有効活用し、種々の研修会の開催、ホームページや会報の出版等で情報の伝達等を行い、会員皆様へのサービスに努めております。ホームページの閲覧、会報の購読などを積極的にいただき栄養士会事業へのご意見や種々の情報をいただければ幸いです。全理事が知恵をしぼって会員の皆様のニーズに応えられるよう頑張りたいと思います。

終わりにあたり、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして就任の抱負と挨拶とさせていただきます。